



紙面から

- お知らせ**  
子ども手当制度が始まります……………2
- 催し**  
日野市ファミリー・サポート・センター保育講習会……………5
- 催し**  
CO<sub>2</sub>をへらそうキャラクターが誕生しました……………6
- 特集**  
いつまでも市民のための病院であるために……………8

市民意識  
調査結果  
(速報)

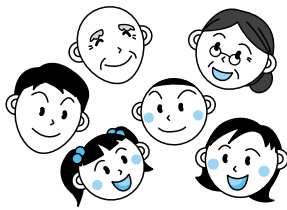
# 9割が住み続けたい 住みやすいも高率に

市では、第5次基本構想・基本計画策定にあたり、今年2月にまちづくりに関するアンケート調査を実施し、「今後10年間で特に力を入れるべき取り組み」、「日野市の住みやすさ」、「協働のまちづくり」などについて調査しました。今回、調査結果の速報がまとまりましたのでご紹介します。

調査概要	時期	2月
	対象	市内在住の20歳以上の方
	人数	3千人
	方法	無作為抽出。郵送による調査
	有効回答数	1千265通 回答率 42.3%

## 9割の方が「住み続けたい」

「日野市は住みやすいところだと思いますか」という質問に「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」という回答が89%、「日野市にこれからも住み続けたいと思いますか」という質問に対して「住み続けたい」が86%になりました。

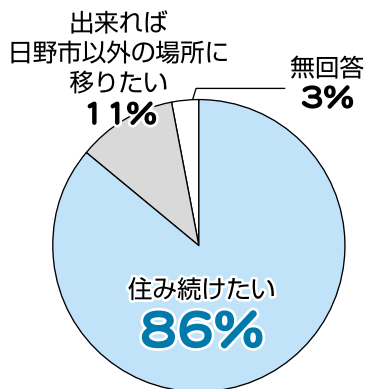


前回(平成11年3月)の市民意識調査は「住み続けたい」という回答は76%で、今回は10ポイント上昇し、定住志向が高まっています。

### Q 日野市は住みやすいところだと思いますか

住みやすい	39%
どちらかといえば住みやすい	50%
どちらかといえば住みにくい	8%
住みにくい	3%
無回答	2%

### Q 日野市にこれからも住み続けたいと思いますか



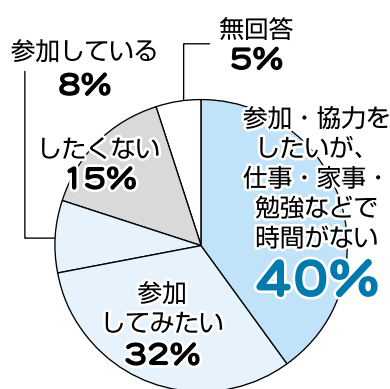
※数字は小数点以下第1位を四捨五入

## 協働には参加・協力したいけど

「協働によるまちづくりに参加・協力することが出来ますか」という質問に「参加している」「参加してみたい」という回答は、合わせて80%に達しています。しかし、そのうち半数が「参加・協力をしたいが時間がない」と答えています。なお、前回の調査では、「時間的に余裕が出来たら」「自由になる時間」に「ボランティアや市民活動に参加したい」という回答が78%ありました。

また、協働の進め方についての質問に対しては、「協働の意味や効果、範囲などが分からないので、何とも言えない」という回答が半数を占めています。今後、市民の皆さまとの協働のあり方などの検討を進めていきます。

### Q 協働によるまちづくりに参加・協力することが出来ますか



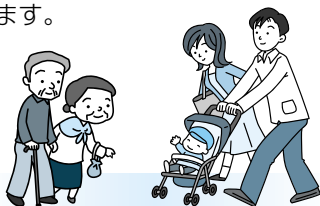
### Q 協働を進めるべきだと思いますか

何とも言えない	51%
今後、充実すべき	23%
必要であるが、行政主導で進めることが望ましい	18%
手間や時間がかかるのであまりやりたくない	2%
協働は必要ない	0%
その他	2%
無回答	4%

## 調査結果は今後市ホームページで公開

このほか、今回の市民意識調査では、市の良い点、改善点、施策の達成度と重要度、市政への関心、市のイメージワード、市政情報の入手方法などを質問しています。

この調査結果は、今年度進めている計画策定の資料として活用します。今後、調査結果をまとめ、市ホームページなどで報告していきます。



## 力を入れて欲しいのは「高齢者」「医療」「安心」



市が今後10年間で特に力を入れるべき取り組みについて43項目を挙げ、重要度の高い順に5つ選択してもらったところ、「高齢者施策が充実し、安心して暮らすことが出来る」が最も高く、次いで「安心して医療サービス

を受けられる環境になっている」「安心して住み続けることが出来るまちになっている」の順になっています。

なお、前回調査では、「自然」「環境」「安全」が上位でした。

### Q 今後10年間で特に力を入れるべき取り組みは(順位の高いもの5つを選択)

